第 2014-08 号

恵みと真理のニュース

2014 年 2 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　私達の家庭の主となり いつも愛で守ってくださる神様に感謝を捧げます。

“命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。”（詩篇２３：６）ハレルヤ！！
私は偶像崇拝する家庭で生まれ子供の頃から祭祀を行う事をよく見ながら育ちました。米の店をした親は毎月一日になると定期的に祭祀を行ないました。
若い私にもそんな光景は良くないと思いました。その代わり姉と兄が学校でもらって来て本棚に並べておいた小さくて青い聖書が目に入りました。思春期の頃たまにその聖書を読みながらイエス様と教会について感心を持つようになりました。
学校を卒業してから就職ができなくて落胆し心を苦しんでいるとき、道でもらった教会の週報を見て自ら教会に行きました。小さい教会で信徒の数が少なかったのでまだ救いの確信を持ってない状態でしたが、教会学校の補助教師と聖歌隊員として奉仕しました。信仰が弱くてたりなかったですが教会に来て交際し奉仕することが楽しくて特別伝道期間には母と弟を教会を導きました。感謝することは母は神様の恵みで信仰生活をして勧士になり 3 年前天に召されました。弟をはじめ 6 人兄弟全て神様をよく捧げています。しかし、私は偶像崇拝する家で嫁に行き生活しながら一時期教会を休みました。ある日手持ち無沙汰で疲れた人生の楽しみなないとき区域長が恵みと真理教会で導いてくださり、その時から私はイエス様を私の救い主として受け入れ真実に信仰生活をするようになりました。区域長の愛と熱心さに刺激を受け何より以前、経験してなかった御言葉と聖霊で満たされた礼拝にすっかり魅了されました。主日礼拝はもちろん、思い切り祈りができる月曜日祈り会と金曜祈り会、そして御言葉の一節一節良く学んで恵みと真理で満たされる水曜礼拝まで全ての礼拝が待たれました。
区域員達と集まって共に礼拝しながら苦しんでいる聖徒のため祈りし、喜ぶ事がある聖徒と共に神様に感謝しながら恵みと愛を分かち合う区域礼拝も毎週するようになったことも神様の恵みです。
私が礼拝中心の生活をすると神様を信じなかった旦那は反対して教会に行けないように迫害をしましたが、主と教会を愛し礼拝を愛する私の信仰と熱情を防ぐ事はできませんでした。旦那が救われるように切に祈り忍耐しながら神様の助けを求める中である日旦那が私に大きな過ちを行ないました。
私は“互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。　（エペソ　４：３２）は
御言葉に従順して旦那を赦して代わり教会行くという約束をしました。旦那は始めて私をついて教会に来て礼拝を捧げる途中で御言葉と聖霊で感動を受けた以降熱心に神様を信じるようになりました。今日案手執事として主と主の体である教会をよく仕えています。
主に信頼し、善を行え。この地に住み着き、信仰を糧とせよ。 主に自らをゆだねよ／主はあなたの心の願いをかなえてくださる。（詩篇　37：3,4）
結婚して 10 年が超えるほどタバコを吸った旦那が結局、体が悪くなり肺結核になりました。私は大きく落段しなくて一ヶ月祈りをしながら神様に求めました。旦那にも神様の助けですぐタバコをやめてよく治療を受けながら病気が治ることを神様に祈ろうと進めました。そして旦那は神様の恵みで難しいという禁煙にもついに成功し健康を回復しました。
私も結婚して 15 年になって原因が分からない目まいで苦痛を耐えながら一時期区域長の職分を担えなかった時がありました。しかし、その時にも主に対する私の信頼と愛は変わらなかったです。たとえ区域長の職分を真面目に修行をできなくでもいつも聖書を読み黙想しながら祈り賛美しながら過ごしました。健康が回復して首区域長の職分をうけましたがまたリウマチ関節炎を患いました。私も人間なので一瞬病気に対する恐れがありましたが感謝する事はちょうど礼拝中に当会長牧師が“愛する者よ、あなたの魂が恵まれているように、あなたがすべての面で恵まれ、健康であるようにと祈っています。（ヨハネの手紙三　１：２）御言葉で恵まれ祝福してくださり大きい慰めと力になりました。神癒の恵みに対する期待と確信を持って主に望みをおいてもっと礼拝に熱心して主の事にもっと力を入れました。そうすると“　主に望みをおく人は新たな力を得／鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。”御言葉の恵みを体験して痛みがなく健康な生活をしています。ハレルヤ！！
20 年が超えるほど配偶者のため祈った娘が神様をよく信じる配偶者に出会い結婚する日を決めて結婚式を準備するとき経済的に大きい苦難が来ました。
夫が遺産に受け継いだ土地を何個持っていたが、そのうち、京畿道華城にある広い土地とその周辺が工業団地に開発されるといううわさがあって、 当時、純朴な夫が建設会社の話ばかり聞いてその土地を担保に銀行融資を受けることに印を押してくれたことが、今ではその廃墟よって制度がなくなった’包括的担保融資’になって他の土地まで競売に渡ることになりました。
私は物質の金持ちになるより霊的な金持ちになる事がもっつ祝福であり成功した人生である信仰持って旦那を慰めました。旦那と一緒に問題解決をため祈りました。教区の聖徒達も私達のため期間を決め祈ってくれました。
旦那は今まで世の物質に執着した事を悔い改め霊的にもっと成熟し神様の前にもっと近づくようになりました。まだ、事件の完結してないが、神様の恵みで一部の財産を守る事ができて生活へ大き問題がないことがただ神様に感謝する事ができました。
私達の家庭の主人になりいつも愛で守ってくださり 、万事が益となるように共に働いてくださる主に感謝を捧げます。主を愛し自慢する信仰くださりこのように主が導いてくださり与えた恵みを明かしできる恵みをくださった神様を賛美します。もっと主の事に献身しながら神様の栄光のため生きます。

［信仰コラム］　しばらく受けいう軽い苦難

″私たちがしばらく受けいう軽い苦難は極めて大きく、永遠の栄光を我々に叶うようにする…″(コリンドへの後書４:17、18)

人類の歴史の始まりから終末に至るまで苦難を免れた人生は一人もいません。ただ、各人が経験するようになる苦難の大きさに差があります。だから、苦難に対する理解と態度を学ぶのはだれにも重要なことです。神様は苦難に関する知識と対処する力を聖書に記録しました。苦難に対する理解が不足すれば自分が苦難を受けたり、あるいは他の人が苦難を受けるのを見ても、懐疑にいだくてがっかりすることになります。それで信仰に打撃を受けたりします。反面、苦難は聖書をみて理解ながら対応すれば人は苦難による痛みを克服して災い転じて福となります。苦難を本文に記録された通り、理解すれば苦難の中でも過度に嘆いたり、恐れないようになります。
苦難について’私たちがしばらく受けいう軽い苦難’と定義をつげた人は使徒パウロです。パウロは異邦人の使徒に選んで活動したため、彼のすべての生涯はまさに苦難になりました。そんなパウロが’私たちがしばらく受けいう軽い苦難’としました。。。だから、’しばらく受けいう軽い苦難’という使徒パウロの表現を不適切なことだと誰も反論の余地がないです。
’しばらく受けいう軽い苦難’という表現を私たちキリスト人はためらわずに、確信を持って話せることがでくる理由があります。
第一、私たちの受ける苦難は罪悪の重さに比べるとかなり軽いためです。第二に、私たちが受ける苦難は神様が私たちを救うために受けた苦難にあえて比較されることができないからです。第三に、私たちが受ける苦難が私たちの信仰と人格に非常に進歩と変化をもたらすからです。苦難によって貪欲を放って、満足する方法をわかるようになって生活に感謝することになります。苦難によって神様に仕えるが、怠惰したのを悔悟することになります。苦難によって驕慢を捨てることになります。苦難を通じて世の中に執着せず、主イエスキリストの降臨を望んで、天国も思慕します。そこで苦難によって霊的な発展や変化に比べれば、私たちが受ける苦難は軽いものです。四つ、私たちが受ける苦難は今後受ける光栄と優に比較することができないからです。、イエス・キリストを信じているために翻弄される苦難、イエス・キリストを伝播するため受ける苦難があります。それはキリストと共に受ける苦難として栄光な意味があります。それは大きな栄光がこの世の何物でも比較することがないぐらいです。五つ、私たちが受ける苦難はしばらく受けていくものだからです。たとえ、私たちが長生きするとしても、結局人生は旅人のように少し世の中に止まるだけです。一方、天国での生活は永遠です。だから、天国で永遠に生きることに比べれば、この世の中で受ける苦難は軽いことです。
真のキリスト人は苦難を’軽い苦難’と確信を持って話せる充分な理由があります。どのような高難があっても真実のキリスト人なら挫折、放蕩と絶望しないです。皆さんは″しばらく受けいう軽い苦難は私の人生を永遠に豊かにします。私が眺めるのは見えるものではないし、見えないのだから、見えるのは一時的だけと見えないのは永遠です。″と告白してください。そして’軽い苦難’と言われるようになっている理由を皆様の生活を通じて人々に表せるようにお願います。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム ‘緑の牧場、清い川’ 本の語り中」

あなたはもはや足りている

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

モセはイスラエルの偉い指導者です．彼の立派なリーダーになったことは神様が彼を選んで使ったからです．しかし一方では彼が神様が使うのに適切な資質と性分を取りそろえたという事実を見逃すことができないです．彼は温柔で謙遜な人だったし私利私欲なしに民のために献身しました．そして神様が指示するみ言葉を信じて従順するのに卓越でした．彼が導いたイスラエル子孫たちは首がかたくて不順でした．それでもモセは忍耐心を持って民たちをエジプトから導き出して神様が彼らのご先祖に約束したガナアン地で導く事につくしました．イスラエル子孫たちが広野を行進しながら神様を信じて感謝したら 2 年余りぶりにガナアン地に入ることができたはずです．ところで彼らが神様のみ言葉を不信して不服した結果で神様の懲罰を受けて 38 年の歳月を広野で放浪して虚送しました．そしてエジプトから出る時 20 歳以上になった人々はヨシュアとガルレブそしてモセを除き皆が広野で死んだし 20 歳以下だった人々と広野で生まれた人々が　今ガナアン地で進入するためにモアブ平地に陣を張っていました．
その時モセは 120 歳になったし神様から呼ばられて死を目のまえにしていました．モセが神様に召命を受けた時から 40 年が経った今イスラエル子孫たちはガナアン進入を目のまえにしていました．だからモセが “ヨルダン河の向こう美しい地と美しい山とレバノン”を直接行って見るようになるのを切に望むことは当然之事です．モセは民たちと一緒にその地に入って行けば良いはずなのに “なんとも私を渡るようにして，ヨルダン河の向こうにある美しい地と美しい山とレバノンを見るようにしてください．” と切に求めました．その理由が何でしょうか? 先日彼がした間違いのため神様が “あなたはガナアンに入ることができない．” と宣言したからです．その事件はムリバで飲む水がないので民たちがモセとアロンを向けて怨んだわけに発生しました．神様はモセに指示するのを “杖を持ってあなたの兄アロンとともに会衆を集めて彼らの目の前であなたがたは盤石に命じて水を出しなさいあなたがその盤石で水を出すようにして会衆と彼らの獣に飲みなさいと．” しました．ところでモセは神様が指示したそのままにしないで杖で盤石を二度打ったから水がたくさん湧き出ました．
“そのとき主はモーセとアロンに言われた、「あなたがたはわたしを信じないで、イスラエルの人々の前にわたしの聖なることを現さなかったから、この会衆をわたしが彼らに与えた地に導き入れることができないであろう」。”（民数記 20:12） しました．モセは不平とうらみ事をする民を見る時感情が激しくなって神様の指示のどおりしないで自分の感情のどおり行動した結果ガナアン地に入ることができないという宣告を受けたのです．ガナアン地の前に至ってモセが神様に懇請しました．“なにとも私を渡るようにして下さい，ヨルダン河の向こう美しい地と美しい山とレバノンを見るようにしてください．”

神様が答えるのを **“しかし主はあなたがたのゆえにわたしを怒り、わたしに聞かれなかった。そして主はわたしに言われた、『おまえはもはや足りている。この事については、重ねてわたしに言ってはならない。おまえはピスガの頂に登り、目をあげて西、北、南、東を望み見よ。おまえはこのヨルダンを渡ることができないからである。”（申命記 3:26,27）** しました．

第一、神様がモセに “おまえはもはや足りている”とおっしゃいました．

モセは神様から “おまえはもはや足りている．”というみ言葉を聞いてこれ以上その事に対して言わなかったです．モセが今まで暮しながら経験した神様の愛と恵みを思えばその数をすべて推し量ることができないだろう．そのままで充分だと言うに値します．モセが生まれる時はエジプト王が ヘブル民族抹殺政策を広げる時でした．　ヘブル女人が男の子を生めばエジプトの産婆たちがその子供を殺すように王命が下ろされていました．モセの親はモセを隠して育てたし泣き声が大きくなるようになると葦箱に瀝青と木陣を塗って水が染みこまないように取り計いしてモセをその箱に入れて川端の葦の間に浮かびおきました．ちょうどところに公州が風呂に入ろうと出てからその箱を見つけてあわれの情を持ってモセを育てるようになりました．モセは公州の保護の下に乳はなすまで実母を乳母にして育ちました．その後彼は王宮で公州の息子の身分で教育と訓練を受けながら育ちました．神様の恵みにできた事です．年 40 になった時モセは奴隷生活をする同族を助けようとする心が火のように燃えました．ある日彼が ヘブル人を虐待するエジプト人を打ち殺す事件が発生しました．彼はミデアン広野で身を避けてミデアン祭司イドロの羊飼いになりました．歳月がはかなく経って年が 80 になった時　案外に神様に呼ばられてイスラエル子孫たちをエジプトから導き出してガナアンで導く任務を受けるようになりました．神様の恵みでできた事です．彼が任務遂行をする過程で神様の権勢と威厳が臨んで想像を超越する奇事と異蹟を数えきれなく経験するようになりました．神様の恵みにできた事です．彼はシナイ山の上で神様を対面したりしたし神様がおっしゃるみ言葉を直接聞きました．神様の恵みにできた事です．モセの年 120 数えたが気力がおとろえなかったし目がはっきりしなくなかったです．彼が一生を通じて経験した神様の恵みを思えば “そのままでも充分です．” と言わなければならないでしょう．モセは神様のお許し願えることでビスガ山の頂に上がって目をあげてヨルダン川向こう美しい地と美しい山とレバノンを眺めました．実に感慨無量したはずです．その瞬間彼はガナアン地よりもっと美しくてこの世の中の何でも比べることができない美しくて燦爛たる父の家を信仰の目で眺めるようになったはずです．“これ位ならば充分です．”と告白するのが適当です．
信仰の深みと満足する心の用量は比例します．“これ位でも充分です．” という心をハバクク予言者はこんなに形容しました．**“いちじくの木は花咲かず、ぶどうの木は実らず、オリブの木の産はむなしくなり、田畑は食物を生ぜず、おりには羊が絶え、牛舎には牛がいなくなる。しかし、わたしは主によって楽しみ、わが救の神によって喜ぶ。”（ハバクク書 3:17,18）．**
聖徒の皆さんは “これ位でも充分です．” と言える十分な理由を持っています．それは救いをもらったという理由です．

救いの内容はおびただしいものなどです．イエス様のあがないで罪の許しを受けて義人になって聖霊で生まれかわって新しい命を受けて神様の子になって将来天国に入って暮すようになって復活して神霊な身を着るようになることがその内容です．だから救いをもらった聖徒は “そのままでも充分だ．” といつも言わなければなりません．

第二、神様がモセに “この事で 重ねて私に言うな”とおっしゃいました．

神様のみ旨を変更させてくれという人の要求に対して神様がその要求をことわる場合があってそれとも収容する場合があります．
モセの今度の場合はことわられた事例です．しかし神様のみ旨を振り返えてくれという祈祷をそのまま回答なさった事例もあります．モセの祈祷を聞いて神様がみ旨を振り返えて，おっしゃったわざわいをその民たちに下らなかったです．その事件が出エジプト記 32 章に記録されています．モセが神様の呼ばられてシナイ山の上に上がって神様の戒めと法道を受けている間に民たちは金で子牛の偶像を作ってその前で敬排しました．神様が震怒なさってイスラエルを懲罰しようとする神様のみ旨をモセに表明しました．ところでそのみ旨を振り返えてくれとモセが懇請すると神様がモセの懇請どおり回答なさいました．とにかくモセが神様に懇請しないよりは懇請したのがお上手な事です．善良な意図での祈祷は無益ではないです．モセが神様に自分の願いを切に申し上げたから “そのままで充分だからこの事でまた私に言わない　あなたはビスが山の頂に上がって目をあげて東西南北を察してあなたの目でその地を見ろ．”というみ言葉を聞く事になったのです．イエスキリストを信じて救い得た聖徒の皆さんは “そのままでもあなたに充分だからこの事で私にこれ以上言うな．” という神様の返事を聞くことも喜びであり幸せというのを悟るようになってください．

聖徒の皆さんは恵みの寶座の前に大胆に口を広く開いて何でも神様に切に求めてください．そして神様が驚くべきな権能で願いを遂げてくださる恵みをたくさん体験してください．そして時には “これ位でも充分です．” と言って神様に感謝する生活をなさってください．